

高齢運転者対策・改正道路交通法が 3月12日からスタート

高齢運転者による事故が増えていることから、平成29年3月12日から道路交通法が改正され、高齢者講習の仕組みが変わります。

- 75歳以上の運転者が一定の違反行為を行ったときは、新たに**臨時認知機能検査**を受け、認知症の恐れがあると判断された場合は、**臨時高齢者講習**を受けなければなりません。
- 免許証の更新の際、認知機能検査で認知症のおそれがあると判断された人は、医師の診断を受けなければなりません。
- 高齢者講習で、75歳未満の人と認知機能検査で認知機能の低下の恐れがないと判定された人は、講習時間が2時間に短縮されます。

▶高齢者講習の様子



議員政策条例制定へ！ パブリック・コメントを募集！

自民党議員団では、さらなる県内農林水産業の振興・支援を目的として「埼玉県農林水産業振興条例案」を策定致しました。また、相次ぐ山岳事故を受け、防災航空隊による山岳救助に対する費用負担を求める「埼玉県防災航空隊の緊急運行業務に関する条例の一部を改正する条例案」を策定致しました。

この度、条例制定に向けた条文案を下記ホームページにて公表させて頂き、広く県民のご意見・情報等を募集します。募集期間は、1月6日から2月5日までの予定。皆様のご意見・ご協力をお願い申し上げます。

自民党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net



▲政務調査会にて条例協議に臨むメンバー

県への要望

■新川越越生線建設促進

(11月1日)

関係市町の首長と県議会議員が、岩崎副知事に対して建設促進を要望しました。

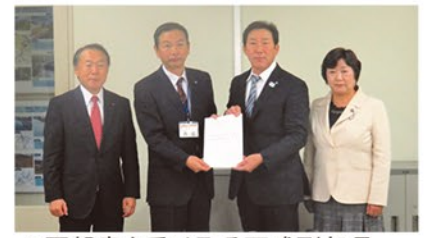


▲要望書を受け取る岩崎副知事

■県道川越坂戸毛呂山線バイパスの早期着工

(11月8日)

武内県議が毛呂山町長、副議長とともに、県土整備部に対して早期着工を要望しました。



▲要望書を受け取る西成副部長

武内まさふみの活動日誌

■福祉保健医療委員会

(11月9日～10日)

●福祉医療センター港南(横浜市)
重症心身障害医療・福祉における横浜市の中核施設として、平成28年6月にオープンしました。重度心身障害児(者)施設としては、国内初の本格的ユニットケア(自宅と同じような住環境)を備えています。



▲運動機能回復のためのリハビリ器具

●神奈川県動物保護センター(平塚市)

同センターでは、引き取った動物の飼い主探しを行うボランティア団体との連携により、平成27年度まで3年連続で犬の殺処分ゼロ、2年連続で猫の殺処分ゼロを達成しました。



▲保護されている犬

■農林水産業振興条例プロジェクトチーム

●9月20日(米作等、果樹、野菜) 大規模農業を行っている(有)中条農産サービス(熊谷市)、ブドウなどの果樹栽培を行っている榎本農園(上尾市)、ヨーロッパ野菜を国内で栽培してレストランに供給している、さいたまヨーロッパ野菜研究会(岩槻区)を視察しました。



▲栽培しているヨーロッパ野菜

●10月17日(水産業、林業、畜産関係)

ホンモロコを養殖している掛川養魚場(熊谷市妻沼)、こだま森林組合の木材伐採現場(神川町)、「武蔵牛」のブランド名の牛を育成・販売する、さかい牧場(深谷市今泉)を視察しました。

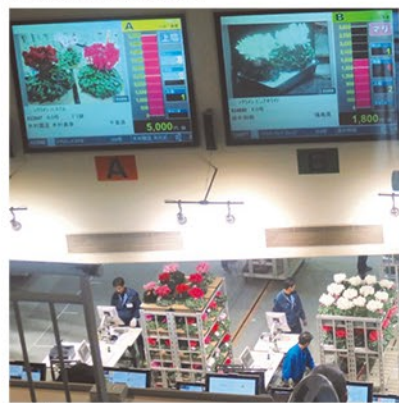


▲こだま森林組合の木材伐採現場

視察

●12月5日(園芸、花き関係)

県内唯一の花き園芸の市場である鴻巣フラワーセンターと園芸を手掛けている吉田園芸(鴻巣市)、洋ランの育成・販売を行う黒白洋蘭店(さいたま市見沼区)を視察しました。



▲鴻巣フラワーセンターの競り市の様子

■自民党県議団医療懇話会(10月31日)

懇話会では、さいたま新都心医療拠点施設である埼玉県小児医療センターと日本赤十字病院を視察しました。



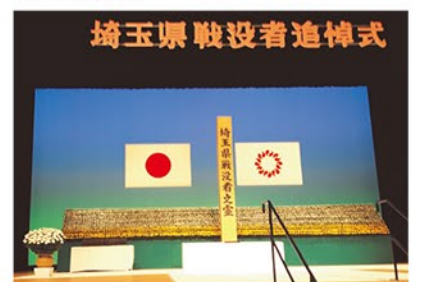
▲日本赤十字病院の屋上ヘリポート

式典等への列席

■埼玉県戦没者追悼式

(10月21日 さいたま市民文化センター)

福祉保健医療委員会副委員長として出席。毛呂山、越生、鳩山3町の遺族会の方々も出席しました。



▲戦没者追悼式典の様子

■西人間地区地域安全暴力排除推進大会

(10月29日 坂戸文化会館)

交通事故撲滅に向けた宣言が採択されました。

■障害者ダンス公演

(11月12日 県芸術劇場)

出演者が音楽に合わせて生き生きと、そしてユーモラスに演じる姿に感激。



▲障害を感じさせない見事な演技

■埼玉県社会福祉大会

(11月16日さいたま市民文化センター)

社会福祉関係に長年携わってきた方々に感謝状を贈呈。